

第2節 事業プログラムの評価指標

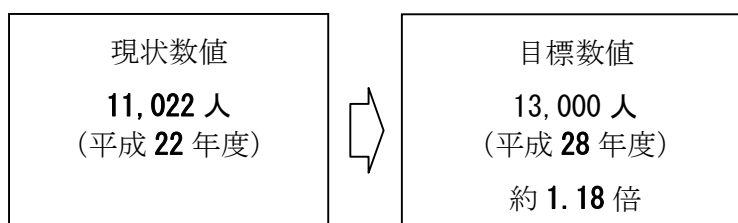
1 評価指標

事業プログラムに位置づけた市内電車環状線化事業、歩行者空間の改善を図る道路整備事業、市街地再開発事業、路面電車の南北接続事業等の実施効果を把握するため、「路面電車市内線一日平均乗車人数」「中心商業地区の歩行者通行量（日曜日）」「中心市街地の居住人口の社会増加」を、評価指標に設定します。

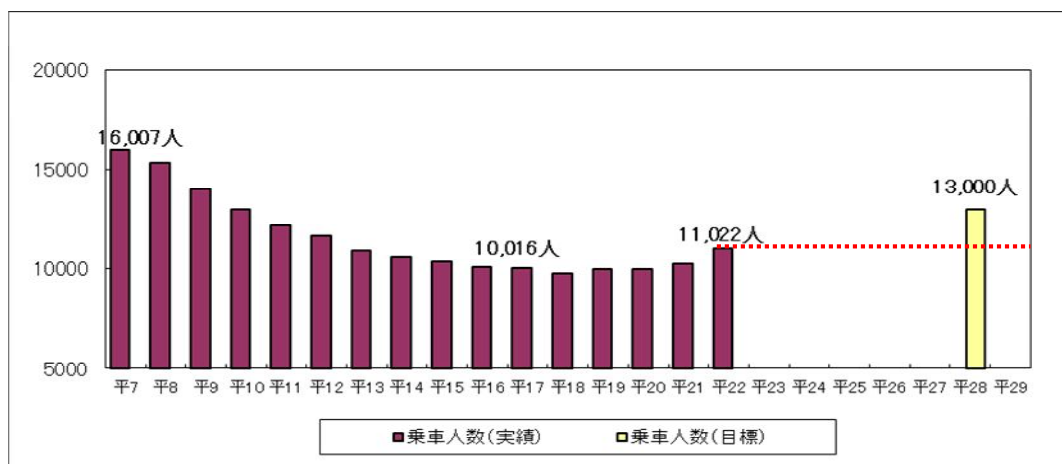
2 目標数値

(1) 路面電車市内線一日平均乗車人数

公共交通を積極的に利用する中心市街地人口の増加、新たな目的地となる賑わい拠点の創出、北陸新幹線の開業、路面電車の利便性向上などの観点から路面電車市内線一日平均乗車人数の増加を約2,000人と見込み、13,000人を目標数値とします。



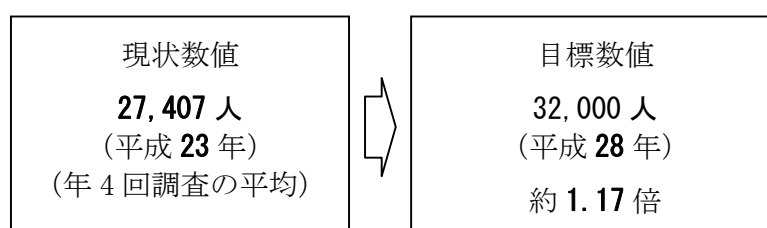
■路面電車市内線一日平均乗車人数の動向と数値目標



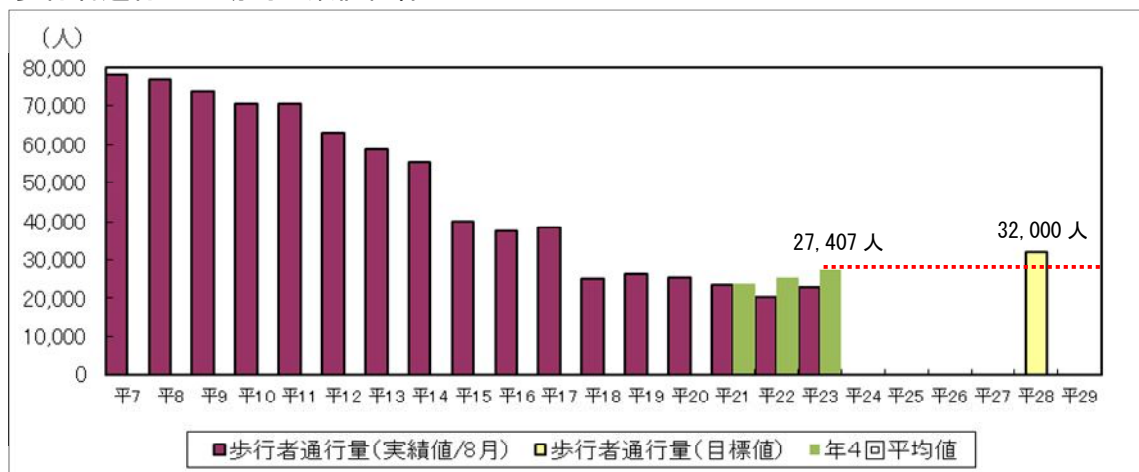
(資料：富山地方鉄道株)

(2) 中心商業地区の歩行者通行量（日曜日）

中心商業地区で歩行を誘発する市街地再開発事業による新たな賑わい拠点の創出や北陸新幹線の開業などの観点から、中心商業地区の歩行者通行量（日曜日）の増加を約4,500人と見込み、32,000人を目標数値とします。



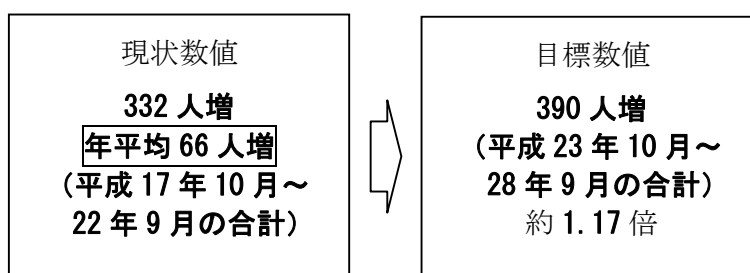
■歩行者通行量の動向と数値目標



(資料：歩行者通行量調査)

(3) 中心市街地の居住人口の社会増加

中心市街地の居住人口の社会増加を目指す「まちなか居住推進事業」の取組や市街地再開発事業等による住宅供給が今後も継続的に行われることを踏まえ、390人の社会増加を目標数値とします。

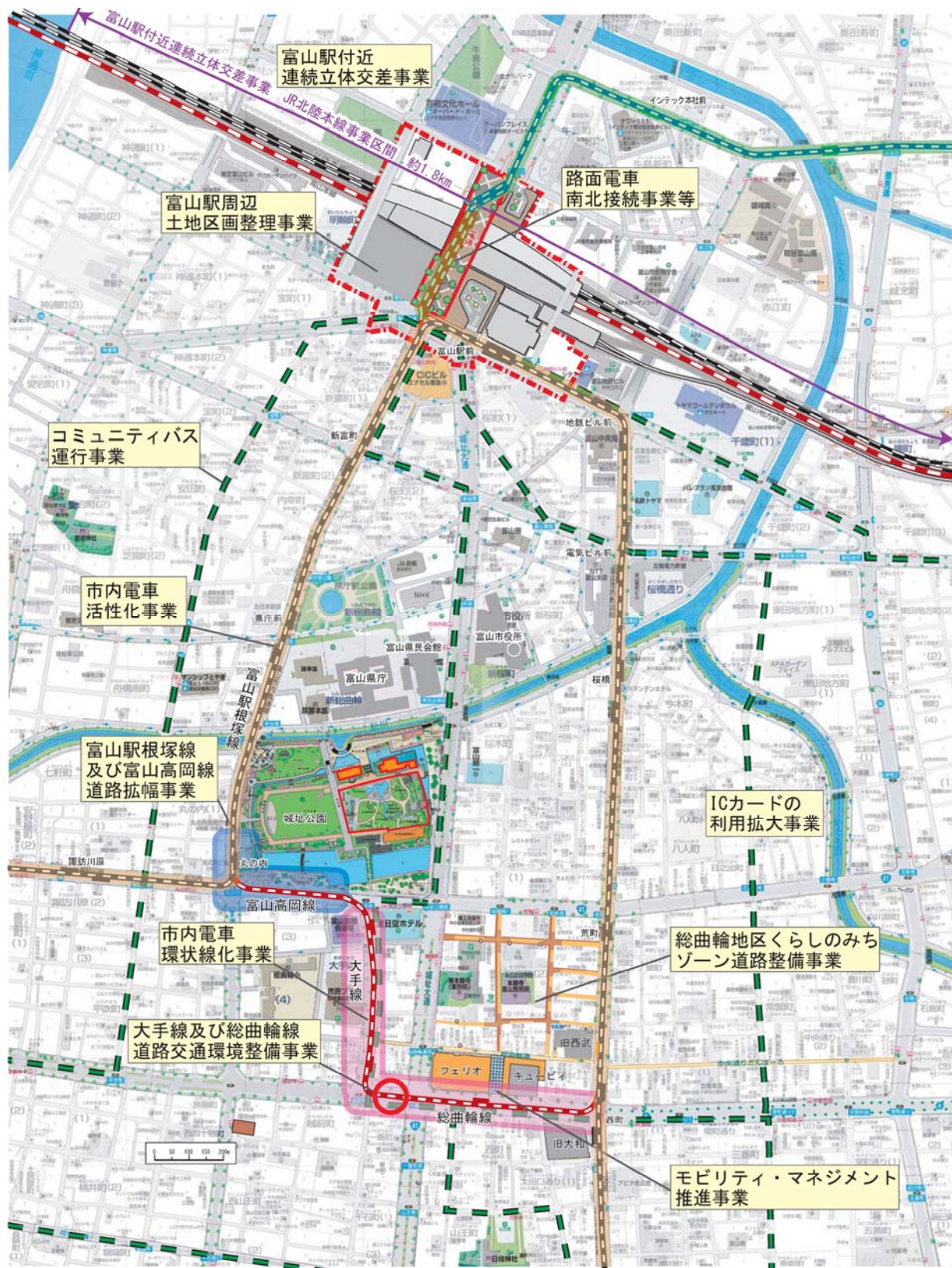


■中心市街地の居住人口の動向と数値目標



(資料：住民基本台帳)

図5-1-1 中心市街地における施策位置



第6章 事業の推進体制

事業の推進にあたっては、本市をはじめとして、交通事業者など富山市都市交通協議会を構成する関係機関等が役割分担を明確にし、相互に連携を図りながら進めるものとします。

事業推進体制（富山市都市交通協議会）

氏名	役職等
中村 純	富山市 副市長
川上 洋司	福井大学 大学院 工学研究科 教授
西岡 秀次	富山商工会議所 専務理事
工藤 幸一	西日本旅客鉄道(株) 金沢支社 業務次長
桑名 博勝	富山地方鉄道(株) 代表取締役社長
粟島 康夫	富山ライトレール(株) 代表取締役社長
市井 正之	あいの風とやま鉄道(株) 代表取締役社長
中田 眞一	(株)まちづくりとやま 代表取締役副社長
橋口 真依	国土交通省 北陸地方整備局 都市・住宅整備課長
岩野 裕功	国土交通省 北陸信越運輸局 富山運輸支局長
松井 健一	国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所長
酒井 武史	富山県 知事政策局 総合交通政策室長
加藤 昭悦	富山県 土木部 次長
松島 義彦	富山県 警察本部 交通部 交通規制課長

参 考

■富山市都市交通協議会 委員名簿

【平成 19 年度】

区 分	氏 名	役 職 等
委員長	川 上 洋 司	福井大学 工学部 教授
委 員	小 室 修	富山商工会議所 専務理事
委 員	中 川 博 義	西日本旅客鉄道(株) 金沢支社 業務次長
委 員	川 岸 宏	富山地方鉄道(株) 副社長
委 員	細 萱 英 也	国土交通省 北陸地方整備局 都市・住宅整備課長
委 員	佐 藤 光 芳	国土交通省 北陸信越運輸局 富山運輸支局長
委 員	安 部 友 則	国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所長
委 員	寺 井 幹 男	富山県 知事政策室 次長
委 員	井 波 久 治	富山県 土木部 次長
委 員	秀 永 義 信	富山県 警察本部 交通部 主席参事官
委 員	笠 原 勤	富山市 副市長

【平成 24 年度】

区 分	氏 名	役 職 等
会 長	神 田 昌 幸	富山市 副市長
委 員	川 上 洋 司	福井大学 大学院 工学研究科 教授
委 員	小 室 修	富山商工会議所 専務理事
委 員	工 藤 幸 一	西日本旅客鉄道(株) 金沢支社 業務次長
委 員	川 岸 宏	富山地方鉄道(株) 代表取締役社長
委 長	根 塚 俊 彦	富山ライトレール(株) 代表取締役社長
委 員	山 崎 和 夫	(株)まちづくりとやま 代表取締役副社長
委 員	恵 崎 孝 之	国土交通省 北陸地方整備局 都市・住宅整備課長
委 員	佐々木 義 弘	国土交通省 北陸信越運輸局 富山運輸支局長
委 員	氏 家 清 彦	国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所長
委 員	大 坪 昭 一	富山県 知事政策局 総合交通政策室長
委 員	林 正 之	富山県 土木部 次長
委 員	前 田 幹 二	富山県 警察本部 交通部 交通規制課長

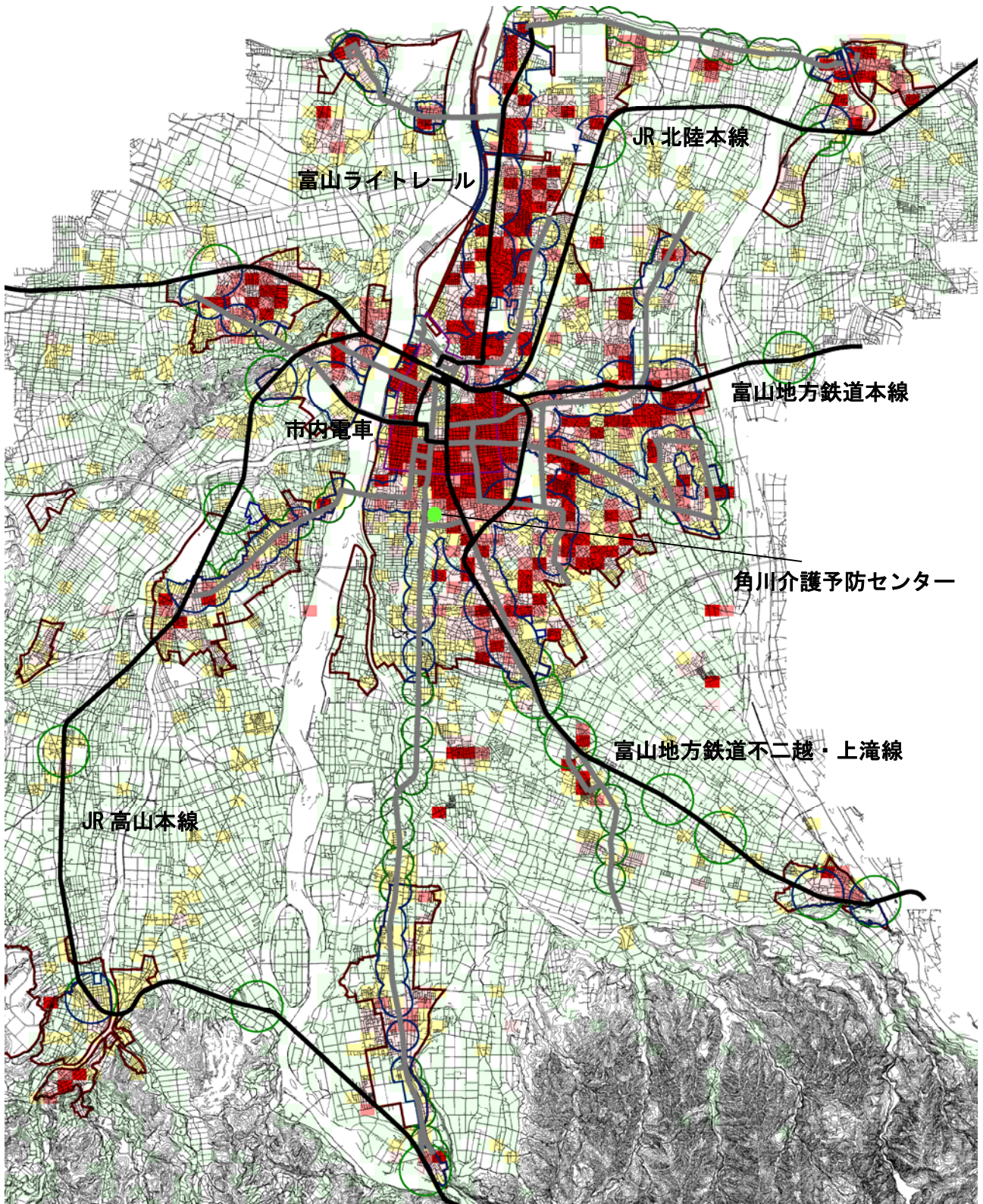
【平成 26 年度】

区 分	氏 名	役 職 等
会 長	中 村 純	富山市 副市長
委 員	川 上 洋 司	福井大学 大学院 工学研究科 教授
委 員	西 岡 秀 次	富山商工会議所 専務理事
委 員	工 藤 幸 一	西日本旅客鉄道(株) 金沢支社 業務次長
委 員	桑 名 博 勝	富山地方鉄道(株) 代表取締役社長
委 長	栗 島 康 夫	富山ライトレール(株) 代表取締役社長
委 員	市 井 正 之	あいの風とやま鉄道(株) 代表取締役社長
委 員	中 田 眞 一	(株)まちづくりとやま 代表取締役副社長
委 員	橋 口 真 依	国土交通省 北陸地方整備局 都市・住宅整備課長
委 員	岩 野 裕 功	国土交通省 北陸信越運輸局 富山運輸支局長
委 員	松 井 健 一	国土交通省 北陸地方整備局 富山河川国道事務所長
委 員	酒 井 武 史	富山県 知事政策局 総合交通政策室長
委 員	加 藤 昭 悦	富山県 土木部 次長
委 員	松 島 義 彦	富山県 警察本部 交通部 交通規制課長

■改訂の経過

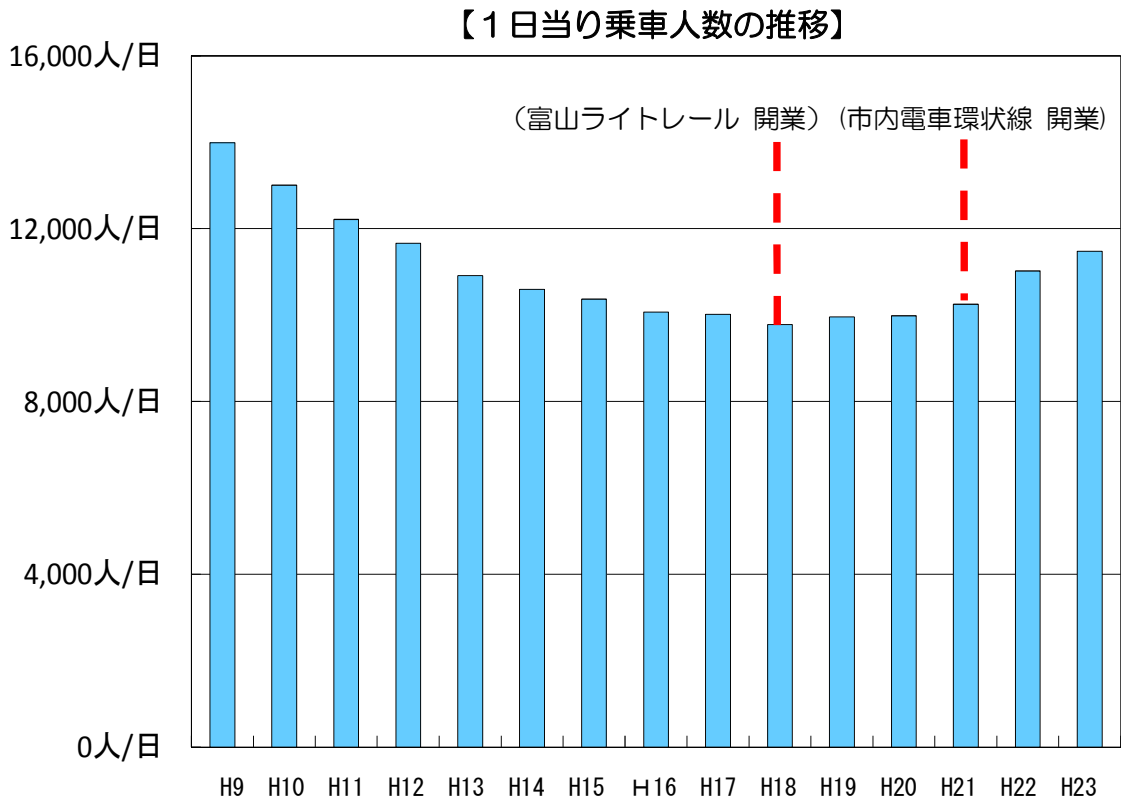
日 時	内 容
平成19年11月12日	総合交通戦略の承認・策定
平成25年 1月24日	総合交通戦略の追加・修正
平成27年 3月24日	総合交通戦略の追加・修正

■ 平成 24 年の高齢者（65 歳以上）の分布（250m メッシュ）



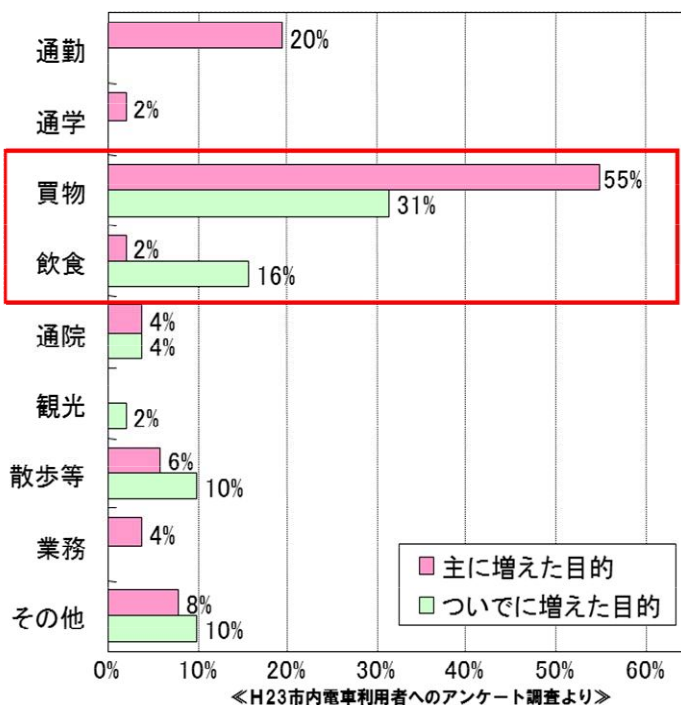
- 鉄軌道網
- 運行頻度の高いバス路線
- 都心地区
- 沿線居住推進地区
- 沿線地区（用途外）
- 用途地域
- H24高齢者【250MESH】**
- 25人未満
- 25-49人
- 50-74人
- 75-99人
- 100人以上

■市内電車利用者数の推移



■市内電車環状線化の整備効果

【外出機会が増えた目的】



【買物・飲食の際の平均滞在時間(分/日)】

平日		休日	
自動車	環状線	自動車	環状線
96分	101分	113分	145分

【中心部への来街頻度と消費金額】
買物目的の平均来街頻度(回/月)

平日		休日	
自動車	環状線	自動車	環状線
2.5回	5.6回	1.8回	6.4回

平均消費金額(円/日・人)

平日		休日	
自動車	環状線	自動車	環状線
¥11,489	¥12,533	¥9,207	¥14,994

＜自動車はH22、環状線はH23市内電車利用者へのアンケート調査より＞

富山市総合交通戦略

発行 平成 19 年 11 月

改訂 平成 27 年 3 月

富山市都市整備部交通政策課

〒930-8510 富山市新桜町 7 番 38 号

TEL 076-443-2195

FAX 076-443-2190